

I 世界史B問題

ミドハト=パシャによって宗教・民族を問わず帝国内の全住民を平等なオスマン人とみなすオスマン主義に立脚したミドハト憲法が發布された。しかしアブデュルハミト2世は憲法を停止して専制を開始すると、パン=イスラーム主義を唱えてカリフとして国内外のムスリムの結集を図った。憲法復活を目指す統一と進歩委員会が青年トルコ革命を起こすと、オスマン主義が復活したが、徐々に世界中のトルコ系民族の団結と一体化を目指すパン=トルコ主義が台頭した。第一次世界大戦敗北後にスルタン制を廃止してトルコ共和国を樹立したムスタファ=ケマルは、カリフ制廃止やトルコ語教育で脱イスラーム教とナショナリズムによるトルコ国民の統合を図った。(300字)

Ⅱ 世界史B問題

A

a	劉備
---	----

(1)	荀子
(2)	始皇帝
(3)	蔡倫
(4)	九品中正（九品官人法）
(5)	四六駢儷体
(6)	孝文帝
(7)	玄奘
(8)	ソンツェン=ガンボ
(9)	竜門石窟
(10)	西太后
(11)	燕雲十六州
(12)	銀
(13)	院体画
(14)	秦檜

B

b	天津
c	重慶

(15)	(ア)	湘軍
	(イ)	ゴードン
(16)		陳独秀
(17)		五・三〇運動
(18)		ヴィシー政府
(19)		崔濟愚
(20)		フェルビースト
(21)	(ア)	甲申政変
	(イ)	清仏戦争
(22)		張学良
(23)		無制限潜水艦作戦
(24)	(ア)	汪兆銘
	(イ)	李承晩

Ⅲ 世界史B問題

十字軍は、聖地イェルサレムをイスラーム勢力から回復しようという宗教的側面が強かったが、権威を強化したいローマ教皇や、領地・戦利品を望む諸侯などの思惑が表面化し、第4回十字軍がヴェネツィア商人の要求で聖地にむかわず商敵であったコンスタンティノープルを占領するにいたって、経済的・政治的性格が強くなった。第1回十字軍の聖地回復によって当初高まっていた教皇権は、最終的な十字軍運動の失敗によって、衰退に向かった。そして、遠征で疲弊した諸侯の没落を促す一方で、十字軍運動を指揮した国王の権威が強化された。また、十字軍の輸送によってイタリア諸都市が繁栄し、人とももの交流が活発化したことで東方貿易が活性化した。（300字）

IV 世界史B問題

A

a	アレクサンドリア
b	プトレマイオス

(1)	エウクレイデス	
(2)	軍事奉仕の代償として、国有地の管理権と税収を給付した制度である。	
(3)	アリストテレス	
(4)	ナポリ王国	
(5)	フランス王フィリップ4世と聖職者課税問題で対立した教皇ボニファティウス8世が、アナーニで捕えられ急死した事件である。	
(6)	エラスムス	
(7)	カール5世	
(8)	ツヴィングリ	
(9)	モルッカ（マルク）諸島	
(10)	リシュリユール	
(11)	(ア) メキシコ	

B

(12)	リカード
(13)	第2次囲い込み（エンクロージャー）
(14)	穀物法
(15)	機械打ちこわし運動
(16)	フイヤン派
(17)	国民公会
(18)	テルミドール9日のクーデタ
(19)	小土地所有農民が広範に存在したから。
(20)	マジヤール人
(21)	アメリカ労働総同盟（AFL）
(22)	ドレフュス事件
(23)	中国から茶を輸入して支払った銀を、インドからアヘンを持ち込み、さらにインドにイギリスから綿織物を持ち込んで回収した。
(24)	洋務運動
(25)	ベトナム青年革命同志会